

令和5年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(いわき地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ (いわき市立中央台南中学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> □ 小中連携CAN-DOリスト「Minami English Roadmap」の活用 □ 学習形態の工夫を通じた、対話的・協働的な学びの実践 □ ICTを活用した、個に応じた学習支援の推進 □ 中間指導をポイントに据えた、英語による見方・考え方の段階的な充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携CAN-DOリストにより、小学校からの学習を踏まえた上で、各学年の指導の重点を明確にすることができた。 ○ 上位生徒・下位生徒をバランス良く配置したグループ形態での学習を通して、協働的な学びや、下位生徒への学習支援に繋がられた。 ○ GIGA端末のドリルや検索機能を活用し、個別最適な学びとなるような学習活動を進めることができた。 ○ 要請訪問や公開授業を通して中間指導のあり方や視点について学び、授業改善に繋がられた。
	<ul style="list-style-type: none"> □ 英語による「対話」を重視した授業…「目的・場面・状況」を意識した言語活動の充実 □ 小中・小小連携…中央台版CAN-DOリストの共有、授業研究会への相互の参加、交流授業 □ 英語にふれる機会…ALTとのふれあいタイム、留学生(大学生)との交流授業、英語版校歌の合唱、校舎・教室への英語の掲示物、英語本コーナー □ 教員の授業力向上…授業研究(要請訪問)、外国語教育推進リーダーによる実技研修や授業動画視聴 □ ICT活用…デジタル教科書、オクリンク、スピーキングクエスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が、英語での発音や対話に慣れ親しみ、楽しみながら学ぶ姿がたくさん見られた。また、目的をもって言語活動に繰り返し取り組むことを通じて、基本的な表現を身に付けることができた。交流授業や校舎内環境整備も効果的だった。 ○ 拠点校Ⅰ・Ⅱ、協力校で共有しているCAN-DOリストをもとにした振り返りを毎時行うことにより、到達度の共通理解を図りながら進めることができた。 ○ 外国語教育推進リーダーの日々の授業づくりをもとにした研修の機会をつくってきたことで、ICT活用法も含め、より実践的な学びを得ることができた。

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

協力校

(いわき市立中央台南小学校)



実践の具体的な内容

- CAN-DOリストに沿ってパフォーマンステストのルーブリックを作成し、児童に事前に提示した。
- ICTを活用し、視覚・聴覚に訴えた教材活用で、基本的な表現の定着を図った。児童のプレゼンテーションでICTを用いて、自分の考えや体験についてやり取りする活動を行った。
- アルファベット定着のため、10～1級の難易度に分けた小テストを実施した。

取組による成果

- チャンツや活動で繰り返し表現を定着させてパフォーマンステストに臨んだ結果、臨機応変にALTの質問に応答したり、質問を返したりする児童が増えた。
- 英語らしい発音やイントネーションで話せる児童が増えた。
- アルファベットの小テストを実施し、アルファベットが定着し、英文を正しく視写する力がついた。